

学校法人いわお学園

令和3年度(2021年度) 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 沿革

平成17年03月	学校法人いわお学園設置認可。 理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ設置認可。 同 理容師養成施設指定。 同 美容師養成施設指定。
平成17年04月	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ開校。 (理容科定員 30名、美容科定員 50名)
平成18年04月	プロ理容師養成科開講。(定員 30名)
平成19年04月	あべの新校舎開校・事務局移転。 美容科定員変更。(定員 80名) プロ美容師養成科開講。(定員 50名)
平成20年04月	美容科定員変更。(定員 160名)
平成21年04月	理容科定員変更。(定員 90名) TONI&GUY カット ACADEMY開講。 NHC ネイル ACADEMY開講。
平成24年04月	TONI&GUY カラー ACADEMY開講。
平成26年04月	あべのマルシェ校舎開校。 美容科定員変更。(定員 240名) NHC アイラッシュ ACADEMY開講。
平成27年02月	職業実践専門課程認可。(理容科、美容科)
平成27年10月	天王寺校舎北館開校。
平成28年04月	理容科定員変更。(定員 140名) NHC レディースシェーブ&エステ ACADEMY開講。
平成29年04月	プロ理美容師養成科開講(定員 90名)
令和02年04月	プロスタイリスト科開講(定員 90名)
令和03年04月	プロ理容師養成科・プロ美容師養成科・プロ理美容師養成科を統合 プロスタイリスト科を昼間課程に変更(今年度入学生より)

(2) 設置する学校の所在地

理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ

あべの本校舎

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町2-1-2 あべのポンテ2F

あべのマルシェ校舎

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町2-1-1-200

天王寺校舎 北館

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町3-23

天王寺校舎 南館

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町3-5

(3) 役員状況(令和4年5月1日現在)

役職	氏名	主な職業
理事長	高添 陽一	学校法人いわお学園理事長
理事	高添 航太郎	会社役員
理事	平田 耕二	学校法人いわお学園教員
理事	高橋 建二	会社役員
理事	古川 繁浩	会社役員
理事	丸尾 匠司	理容師
監事	西脇 泰弘	税理士
監事	八代規素子	自営

(4) 評議員の状況(令和4年5月1日現在)

役職	氏名	主な職業
評議員	高添 陽一	学校法人いわお学園理事長
評議員	高添 裕子	会社役員
評議員	丸山 勇樹	学校法人いわお学園教員
評議員	森田 いづみ	学校法人いわお学園職員
評議員	平田 耕二	学校法人いわお学園教員
評議員	大迫 義文	理容師
評議員	蛭原 征志	理容師
評議員	岡本 貞治	理容師
評議員	丸尾 匠司	理容師
評議員	矢野 剛	学校法人いわお学園教員
評議員	下町 一久	学校法人いわお学園教員
評議員	高添航太郎	学校法人いわお学園副校長
評議員	高添友梨子	美容師

(5) 教職員の状況(令和4年5月1日現在)

	専任	兼任	合計
校長	1名		1名
教員	31名	17名	48名
事務職員	10名		10名
合計	42名	17名	59名

(6) 生徒の状況(令和4年5月1日現在)

		定員	現員	充足率	前年	伸長率
理容科	1年	70名	39名	55.7%	45名	86.7%
	2年	70名	41名	58.6%	41名	100.0%
	計	140名	80名	57.1%	86名	93.0%
美容科	1年	120名	108名	90.0%	119名	90.8%
	2年	120名	115名	95.8%	108名	106.5%
	計	240名	223名	92.9%	227名	98.2%
プロ スタイリスト科	1年	30名	16名	53.3%	15名	106.7%
	2年	30名	14名	46.7%	20名	70.0%
	3年	30名	15名	50.0%	19名	78.9%
	計	90名	45名	50.0%	54名	83.3%
合計	1年	220名	163名	74.1%	179名	91.1%
	2年	220名	170名	77.3%	169名	100.6%
	3年	30名	15名	50.0%	19名	78.9%
	計	470名	348名	74.0%	367名	94.8%

(7) 土地及び建物の状況

	土地面積	建物面積	合計
あべの本校舎	634.81㎡	1,306.72㎡	1,941.53㎡
あべのマルシェ校舎	98.76㎡	270.57㎡	369.33㎡
天王寺校舎 北館	186.22㎡	413.35㎡	599.57㎡
天王寺校舎 南館	193.04㎡	301.97㎡	495.01㎡
敬愛ガーデン(寮)	267.76㎡	531.33㎡	799.09㎡
あべのポンテ506(寮)	27.89㎡	86.85㎡	114.74㎡
あべのポンテ706(寮)	27.89㎡	86.85㎡	114.74㎡
合計	1,436.37㎡	2,997.64㎡	4,434.01㎡

2. 事業の概要

(1) 教育活動

国家試験の結果、美容科は106名が受験し、102名が合格(合格率 96.2% 前年比 +5.2ポイント) 不合格者4名の内訳は、実技試験のみ不合格者1名、学科試験のみ不合格者2名、実技・学科 不合格者1名という結果でした。昨年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大対策としてリモート 授業での取り組みを継続して行なわざるをえない厳しい状況下ではあったが、国家試験直前期 には、1年生をリモート授業とし、空いた教室で2年生をランク毎に分散させての少人数制指導に より効率的に全体の底上げを図るなど工夫と改善をおこなったことにより合格率を前年度よりア ップさせることができました。令和4年度も国家試験受験者数が100名を超える予定ではあるが 引き続き、リモートを有効に活用した授業展開をおこない95%以上の合格率が残せるよう取り 組んでまいります。

対して理容科は、40名が受験し、37名が合格(合格率 92.5% 前年比 ▲3.9ポイント)、不合格 者3名の内訳は、実技試験不合格者1名、学科試験不合格者2名という結果でした。 前回よりも合格率のポイントがダウンしましたがこれまでの合格率は、古い順に85.7%→93.8% →82.4%→97.2%→69.2%→96.4%→92.5%と90%超と90%未満の繰り返しを令和3年度 は連続して90%超えで終えることができました。過去の90%超は副校長自らが担任を兼務した 年度であったが、令和3年度は担任を1年生、2年生ともに若手教員に任せ、副校長には全体を 統括する体制に変更し若手教員の指導もおこなったことにより教員の成長に繋がって連続して90 %超の結果を残すことができました。 今後は、毎年安定して95%以上の合格率達成を目標として取り組んでまいります。

職業実践専門課程の認可を受け7年目を迎えました。

その成果を発表する場として、初年度より取り組んでいるNHCフェスティバルも7回目を迎え、令 和3年度は7月19日(月)にフェニーチェ堺で開催しました。

次第に認知度も高まってまいりましたが、昨年度同様、コロナ禍により本来の形式である現場で 活躍する理美容師を講師に招き、ダンスパフォーマンスに合わせたヘアスタイルの具現化という 実践的な機会を通じ、生徒の理美容師になりたいという想いを強めさせるとともに、高校生にも 理美容師という職業の素晴らしさを実感してもらおう場として開催することはできませんでしたが 高等学校ダンスチームを招きダンス部門、メイク部門でそれぞれ最優秀賞を選出し文部科学 大臣から頂いた賞状を授与し継続してとりおこなうことができました。

令和3年度入学生より昼間課程として開校致しましたプロスタイリスト科につきましては入学生 15名でスタート致しました。

通信課程併用により3年後の卒業時に国家資格を取得するとともに、集合訓練の場での反復 練習と企業実習における実践的訓練の併用により、同時にスタイリストデビューできる人材の 育成に取り組んでまいります。

(2) 就職支援

コロナ禍で就職ガイダンスの開催が中止になったり、理美容サロンの新規採用の手控えがあったり等、就職活動において大きな制限を設けられた1年となりました。

その中で、当校は従前より関連企業が運営する「Beautytop-job」に加え、同じく関連企業が理美容サロンの予約受付サイトとして開発した「すまれせブル」を活用し、校友会サロンの情報を生徒が自宅で手軽に閲覧できる様に仕組みを整えました。例年同様、卒業生全員に対する個別面談、面接練習等の個別指導をオンラインも活用しながら徹底して行い、昼間卒業生145名のうち就職希望者136名(理容科35名美容科101名)全員が卒業時まで以内定をいただくことができました。

一方で理美容サロンへの就職を希望しない生徒も9名(6.2%)おり、当面は、居心地の良さから現在のアルバイトを継続する生徒が多数ですが、職業教育を謳う専門学校としては力不足を感じる結果となっています。

就職活動に向けた平素の指導はもとより、実践教育に伴うサロンワーク等で業界の厳しさから敬遠してしまう生徒もおり、その改善が課題となっています。

まだまだコロナ禍の予断を許さない状況下ではありますが、令和4年度の就職活動は既に始まり、まずは就職希望者に校友会の会員との協力体制のもとサロン見学会を実施し就職に対する意識を高めていくよう取り組んでまいります。

(3) 広報活動

広報活動においても、コロナ禍で厳しい状況の中でした。オープンキャンパスでは動員数の面でコロナ禍前より下回りましたが、少人数での個別オープンキャンパスや午前午後の1日2回開催等で補填に努めた他、リモートでの学校説明会を開催する等、高校生との接触機会の減少を手厚さで補う取組みに注力しました。

最終的な入学者数は、美容科は前年同様、定員1名減の119名、理容科も45名と前年と同数の入学者数を達成することができました。

プロスタイリスト科は、令和3年4月より昼間課程を開校し定員30名に対し半数の15名の入学者数でした。

高等教育の無償化(修学支援制度)が施行され、経済的に厳しい家庭であっても、進学へのハードルが大きく下がったために、就職希望者が減少したことも要因のひとつと考えています。

ただ、アシスタント段階から自社の教育制度に沿った育成をしたいというサロン様も多く就職希望者が全くないというわけでもないため、以降はこれまで以上にサロン様と就職希望者のマッチングにも注力しながら、プロスタイリスト生の確保に努めてまいります。

(4) 校友会

令和3年5月現在の校友会加盟サロン数は226社となりました。

令和2年度に続き令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で定期総会は中止となりましたが、来年度は、例年の行事をおこない、協力関係を維持し、共存共栄を目指してまいります。

前述の様に生徒募集のための広報活動の厳しさが予測される中、生徒募集の面で校友会サロンの協力を得られるか否かは結果を大きく左右するものと捉えています。

例年の行事を通じる中で、確固たる信頼関係を築き、サロン様からは生徒募集の面でも積極的に協力いただき、学校側からは預かった生徒を資格・技術・知識を養成した上で就職という形でお返しできる様な関係を築きたいと考えています。

(5) 教員の資質の向上

例年、夏休等の長期休暇期間を活用し、川西寿美子先生に依頼し、タイムリーな題目で教員研修をお願いしていますが、昨年度同様、集合研修の開催は厳しいと判断し、実施を見送りました。

元上宮太子高等学校教頭の置田和夫先生に依頼している授業参観や、折に触れて教員会議の出席を通じた指導は引続きお願いし、教員の資質の向上に取り組ましました。

(6) 修学支援制度について

令和2年4月に施行された修学支援制度に基づき、授業料減免及び給付奨学生となった者は年間を通じて97名でした。

家計収入の違いにより、減額区分は3段階に分かれています。令和3年5月1日現在の在籍生徒数367名に対する比は、26.4%と約2割強を占めています。

この他にも希望はしたものの、家計収入・学業成績により不採用となった者も相当数おり、今後の生徒募集という意味合いでも、修学支援制度の対象校であるか否かは専門学校に行く未を左右する大きなキーであると感じています。

令和4年度も、給付型・貸与型奨学金の希望者は数多くおり、改めて経済状況の厳しさを実感させられる中において、今後も情報収集を欠かさずことなく、必要とする生徒にタイムリーに情報を提供してまいります。